

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

2. 平成25年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目	
広域連携事業		丹後建国1300年記念事業	
事業着手前			
課題・現状	西暦2013年(平成25年)丹後の国誕生から1300年という記念すべき年を迎える。和銅6年(713年)に丹波国11郡から、その北部に位置する加佐郡、与謝郡、丹波郡(中郡)、竹野郡、熊野郡の5郡を割いて、丹後国がおかれた。記念事業を実施するにあたり、歴史認識の向上や意識高揚を図る必要がある。		
事業概要	平成25年度は丹後建国1300年の節目を迎えることから、3市2町の丹後地域が一带となり、丹後地域の魅力を域内外へ発信していき、将来へ向けたまちづくりや観光振興につなげるため、市民への周知や地域の歴史、価値を再認識することを目的に、シンポジウムの開催、意識啓発運動、観光誘客事業などを行う。		
期待される事業効果等	3市2町の丹後地域が広域で連携し、丹後建国1300年の節目に丹後の歴史・文化の側面から地域資源を掘り起こすとともに、歴史を振り返りながら記念事業を実施することで、国内外に丹後地域をPRし、100年先のまちづくりや観光振興を目指すことで、地域振興の相乗効果が期待できる。また、広域連携によるコスト削減により財政負担の軽減を図ることができる。		
事業実績			
取組状況	市民への周知と気運の醸成を図ることを目的に、観光誘客を図るためのツアーの商品開発や記念書籍、市民の方が歴史を学ぶシンポジウムの開催などを実施した。		
主な実績数値 (出来高数値等)	丹後建国1300年記念ポスター:3,000枚、記念ポストカード:50,000枚、丹後王国物語:7,000部		
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	丹後の歴史・文化を国内外にPRでき、広域連携によるコスト削減により財政負担の軽減を図ることができた。
行革効果			

行革効果の考え方	実行委員会が丹後広域で記念事業を行うことにより、効率的なPR活動が実施できるとともに、各団体が個別に事業を展開した場合は3市2町の負担金総額以上の事業費が必要と見込まれる。								
年度	平成24年度	平成25年度							
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	2,400	2,400							
本事業の実績額(b)	760	760							
行革効果(a)-(b)	1,640	1,640							

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。